

# アンケート用紙の様式

---

平成16年6月

教授・助教授・講師・(非常勤講師) 殿

評価室長 中村 研一

## 学部学生による授業アンケート調査について(依頼)

本学では、平成4年度から実施している全学の点検評価において、平成11年度からは教員の総合的業績評価に資するために、各教員の教育に関わるデータの調査、及び学生による授業アンケート調査を実施しております。これらのアンケートは本学の教育の改善を目的としております。

学生による授業アンケートは、授業の受け手である学生の意見を授業改善にフィードバックするためのものです。ご協力方よろしくお願い申し上げます。

なお、今回からアンケートの回収等は原則として学生に行わせることとしますので、別添の『「授業アンケート調査」の実施要綱(教員用)』に基づいて実施くださるよう、併せてお願い申し上げます。

### 「授業アンケート」の実施について

- 1) 担当の授業(講義・演習)のうち、少なくとも1年間に一つの授業について調査願います。  
今回は前期の授業について調査します。複数の授業を担当されている場合は、一つの授業について自分で選択してください。特に希望される場合には、講義と演習の二つの授業についても調査できます。
- 2) 一つの授業を複数教員が担当している場合は、原則として代表教員が授業全体についてアンケートを実施してください。  
なお、都合により代表教員が実施できず、他の担当教員が代理で実施する場合も、アンケート提出票等には代表教員の氏名を記入してください。
- 3) アンケート用紙は50部送付しておりますが、不足する場合には、各部局の教務担当係に申し出てください(両面コピーでも結構です。)
- 4) 「授業アンケート(設問追加用)」によるアンケートの実施方法につきましては、裏面をお読み下さい。
- 5) アンケート分析結果は、後日、各教員にフィードバックされますので、趣旨に沿う授業を選んで調査願います。

### 照会先

不明の点等は下記に照会願います。

事務担当 企画部企画調整課経営分析室点検評価係(玉木又は泉澤)  
内線3600 e-mail:tenken@general.hokudai.ac.jp

【 裏 面 に 続 く 】

## 「授業アンケート（設問追加用）」について

- 1) これまでのアンケートでは、全授業に対して一律の設問及び回答の選択肢であるため、授業形態や科目特性の違い等による判断ができず利用価値が損なわれているという指摘が寄せられておりますので、平成15年度後期から、担当教員の判断により、アンケートとは別に、独自に授業固有の項目についてアンケートできるよう設問追加用の用紙を用意しております。
- 2) 設問追加用のアンケートは、各教員が希望する場合、経営分析室において集計処理を行い、各教員にフィードバックいたしますので、回収用封筒に同封するよう、回収担当の学生に指示してください。  
なお、フィードバックする内容は、各設問ごとの回答の割合（選択肢「5, 4, 3, 2, 1」のパーセント）のみですので、設定した設問及び回答の選択肢等は各自で記録しておいてください。
- 3) アンケート用紙は1部送付しておりますので、独自の設問及び選択肢の説明等を記入の上、コピーしてご利用ください。なお、アンケート用紙の様式（一太郎形式、Word形式）は、本学ホームページの「点検・評価（<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/tenken/index.html>）」にも掲載しておりますので、ダウンロードして利用できます。  
ただし、経営分析室による集計処理を希望する場合、次の事項にご留意の上、アンケートを実施してください。
  - ア) 設定できる設問は10問以内です。
  - イ) 設定できる選択肢は5つ以内です。（ 選択肢「5, 4, 3, 2, 1」を「A, B, C, D, E」などに変更しないでください。）
  - ウ) アンケートは、1ページ以内に収めてください。

上記ア)～ウ)の制限を超えてアンケートを実施した場合、経営分析室では集計いたしかねますので、あらかじめご承知おきください。

# 「授業アンケート調査」の実施要領（教員用）

（アンケートの実施前に必ずお読みください）

この実施要領は、アンケート調査の対象者である当該授業の受講生に、このアンケートの趣旨を理解し、協力してもらうためのものです。事情の許す限り、要領に従ってアンケートを実施してください。

なお、より公正な取扱いを行うため、今回からアンケートの回収、密封、提出は原則として学生に行わせることとしますので、下記の「アンケートの実施方法」を良く読み、学生に適切な指示を行ってください。

## アンケートの実施方法

アンケートの回収は、2名程度の学生を指名して、用紙の回収と封を行わせたいうで、教務担当係へ提出させるよう指示します。なお、教員はアンケートの記入・回収の際には、講義室から退出するようにしてください。

ただし、5講時の授業などで、終了時刻には教務担当の窓口が閉まっており、受講生の代表が当日に提出できない場合などは、密封した回収用封筒を受講生の代表から教員が受け取り、学内便等により企画部企画調整課へ提出してください。

この場合は、教員は一旦退出し、回収時間に戻る、研究室に持参させるなど適宜の方法で受講生の代表から受け取るようにしてください。ただし、講義室から退出することで受け取りに支障がある場合などは、退出の必要はありません。

1. 当該授業のなるべく終わりの時期、できれば最後の授業で実施してください。
2. アンケートの実施に際しては、記入のために最低10分間の時間を確保してください。
3. 調査を実施する前に、「アンケート提出票（教員用）」、「アンケート分析結果返信用封筒」および回収用封筒に、あらかじめ必要な事項を記入し、「アンケート提出票（教員用）」、「アンケート分析結果返信用封筒」については回収用封筒に入れておいてください。
4. アンケート用紙を配布したら、以下のような説明を行ってください。

- 1) これから、授業アンケート調査を実施いたします。  
このアンケート調査は本学の授業を改善するために毎年行われているもので、それぞれの教員は自分の担当する授業の少なくとも一つを選択して実施することになっています。本年は、この授業において実施することにいたしましたので、ご協力を願います。
- 2) ここで行われたアンケート調査の結果は、担当の教員とその教員が所属する学部・研究科・研究所・センターなどに送り、次年度の授業の改善のために利用されます。将来この科目を履修する学生諸君のためになるものですので、与えられた時間を十分に使って、公正で客観的な評価を行ってください。また、裏面の自由記述欄には、できるだけ授業の改善に役に立つようなコメントを書いてください。
- 3) なお、このアンケート調査は、公正な取扱いを行うために、受講生の代表が回収し、この場で封をして、教務の窓口に届けてもらいます。教員はこのアンケートの記入・回収の際には講義室を退出しますので、代表として指名された方はよろしくご協力をお願いします。  
(教員が提出する場合、また事情により講義室に残る場合は、その旨と理由について説明してください。)

【裏面につづく】

5. 回収を担当する学生を2名程度指名します。指名した学生には、「アンケート提出票(教員用)」、「アンケート分析結果返信用封筒」を入れた回収用封筒及び「授業アンケート調査について(学生用)」を渡し、同文書に記載されたとおり回収等を行うように説明してください。

(教員が提出する場合は、その旨説明し、教員への受渡し方法を指示してください。)

6. 受講生に、記入済み用紙の提出場所(代表者、机の上など)を指示し、教員は講義室を退出してください。

(教員が提出する場で、事情により講義室に残る場合は、その旨説明してください。)

7. 「授業アンケート調査について(学生用)」では、アンケートの提出先について、講義室が高等教育機能開発総合センターの場合は、教務課全学教育第一係、講義室が各学部・研究所等の場合は、各学部・研究所等の教務担当係に提出するように指示しておりますが、必要があれば(場所がわかりにくい等)、教員からも適宜指示するようにしてください。

(複数の教員で担当する講義の場合)

授業によっては、各回の授業に複数の教員が参加するチーム担当授業、あるいは複数の教員で担当する統合講義、総合講義形式となっている場合があります。このような場合には、原則として代表教員が授業全体について学生の意見を求めます。このような授業でアンケート調査をする場合には、実施方法の4.の説明とともに、学生にその旨説明してください。(なお、都合により代表教員が実施できず、他の担当教員が代理で実施する場合も、アンケート提出票等には代表教員の氏名を記入してください。)

(設問追加用のアンケート用紙について)

設問追加用のアンケート用紙を利用して、授業固有の項目について、独自に設問及び選択肢等を設定してアンケートを実施する場合は、そのアンケート内容・回答方式等とともに、全学的に実施するアンケートとは異なる旨説明してください。なお、設問追加用のアンケートは、各教員が希望する場合、集計処理を行い、各教員にフィードバックいたしますので、回収用封筒に同封するよう、学生の代表に指示してください。

受講生の代表に渡してください。

## 授業アンケート調査について（学生用）

このアンケート調査は本学の授業を改善するために毎年行われているものですが、より公正な取扱いを行うため、アンケートの回収等は学生の皆さん自身に行っていただくこととしました。

受講生の代表として選ばれた方には、ご面倒をおかけしますが、よろしくご協力をお願いします。

### アンケートの回収方法

受講生の代表の方には、以下の1．～3．について、協力をさせていただきます。

- 1．記入の終わったアンケート用紙を受講生から回収する。
- 2．用紙を回収用封筒に入れて密封する。
- 3．封筒を教務担当係に届ける。

1．教員が、アンケート用紙の提出場所（机の上など）を指示しますので、受講生から提出された用紙を集めてください。

2．集めたアンケート用紙を回収用封筒に入れてください。教員が「授業アンケート（設問追加用）」を独自に実施した場合には、それも一緒に封筒に入れます。封筒には、のりがついていますので、アンケート用紙を入れたら密封してください。

回収用封筒には、「アンケート提出票」（ピンク色の紙）や返信用封筒があらかじめ入っていますが、集計処理に必要ですので、入れたままにしておいてください。

3．アンケート用紙を入れた封筒を、教務担当の窓口へ提出してください。

なお、5 講時の授業などで、終了時刻には教務担当の窓口が閉まっており、受講生の代表が当日に提出できない場合などは、密封した回収用封筒を受講生の代表から教員が受け取り、直接担当係へ提出することがあります。この場合は教員の指示に従ってください。

講義室が高等教育機能開発総合センターの場合は、教務課全学教育第一係（センターE棟1階）

講義室が各学部・研究所等の場合は、各学部・研究所等の教務担当係

どこに提出してよいかわからない場合は、自分の所属学部の教務担当係に提出してください。

4．このアンケートについて、不明な点がありましたら、下記連絡先に問い合わせてください。

企画部企画調整課点検評価係（TEL 011-706-3600）

# アンケート提出票（教員用）

北海道大学評価室

所属部局

コード番号

--	--

（部局名を記載し，下表のコード表によりコード番号を記載してください。非常勤講師の方は，所属部局は空欄とし，部局コード番号には「99」を記載してください。）

職名 1 教授，2 助教授，3 講師，4 非常勤講師  
（該当する番号に 印を付けてください。）

氏名 \_\_\_\_\_（ふりがな）\_\_\_\_\_

授業の形態 1 講義，2 演習（該当する番号に 印を付けてください。）

科目区分 1 全学教育科目（分野別科目） 2 全学教育科目（複合科目）  
3 全学教育科目（一般教育演習） 4 全学教育科目（共通科目）  
5 全学教育科目（外国語科目） 6 全学教育科目（基礎科目）  
7 全学教育科目（日本語科目及び日本事情に関する科目）  
8 専門科目（該当する番号に 印を付けてください。）

必修・選択 1 必修及び選択必修，2 選択（該当する番号に 印を付けてください。）

科目名 \_\_\_\_\_

受講登録学生数 1 25人以下 2 26～50人 3 51～100人  
4 101～200人 5 201人以上  
（該当する番号に 印を付けてください。）

## 部局コード番号

部局名	番号	部局名	番号
文学研究科・文学部	01	電子科学研究所	17
教育学研究科・教育学部	02	遺伝子病制御研究所	18
法学研究科・法学部	03	触媒化学研究センター	19
経済学研究科・経済学部	04	スラブ研究センター	20
理学研究科・理学部	05	情報基盤センター	36
医学研究科・医学部	06	アイソトープ総合センター	22
歯学研究科・歯学部	07	機器分析センター	23
薬学研究科・薬学部	08	留学生センター	26
工学研究科・工学部	09	量子集積エレクトロニクス研究センター	27
農学研究科・農学部	10	エネルギー変換マテリアル研究センター	28
獣医学研究科・獣医学部	11	高等教育機能開発総合センター	29
水産科学研究科・水産学部	12	先端科学技術共同研究センター	30
言語文化部	13	総合博物館	32
地球環境科学研究科	14	北方生物圏フィールド科学センター	35
国際広報メディア研究科	15	保健管理センター	33
情報科学研究科	37	体育指導センター	34
低温科学研究所	16	非常勤講師	99

研究科，学部の附属施設に所属する教員は，研究科・学部のコード番号を記載してください（大学病院に所属する教員については，診療科等により研究科を判断して記載ください。）

# 授 業 ア ン ケ ー ト

北海道大学評価室

このアンケートは、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に生かされます。アンケートの回答によりあなたが不利益を被ることはありませんので、率直な回答をお願いします。

設問は全てで17問あります。裏面には自由意見欄がありますので、この授業に対する自由な意見を述べてください。アンケート記入後は、授業担当教員の指示に従って提出願います。

この授業（講義・演習）について、以下の各設問に対してどう考えますか。それぞれについて、該当するものを1つ選んで番号又は記号に を付けてください。

5	4	3	2	1
---	---	---	---	---

 の評点は、「強くそう思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強くそう思わない」の順とします。ただし、設問の12と16については、各設問に（ ）書きで付記している評点基準とします。

- |                                                         |                                                                                                                      |   |   |   |   |   |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。                         | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 2 授業は体系的に行われていた。                                        | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 3 教員の熱意が伝わってきた。                                         | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 4 教員の話し方は聞き取りやすかった。                                     | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 5 授業は、難解な概念、理論があっても、わかりやすかった。                           | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 6 授業により知的に刺激された。                                        | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 7 黒板、スライド、OHP、ビデオ、教科書、プリント等の使われ方が理解の促進に効果的であった。         | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 8 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。                      | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 9 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。                                 | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 10 授業の進行速度は適切であった。                                      | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 11 授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。                    | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 12 授業内容の難易度は適切であった。<br>（「極めて難しい、難しい、適切、やさしい、極めてやさしい」の順） | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr></table> | A | B | C | D | E |
| A                                                       | B                                                                                                                    | C | D | E |   |   |
| 13 授業の履修目標を達成できた。                                       | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 14 授業内容が他領域と幅広く関連することを理解できた。                            | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 15 授業により、新しい知識、考え方、技能を習得でき、さらに深く勉強したくなった。               | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |
| 16 この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。（ほぼ「100,80,60,40,20%」の順）      | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr></table> | A | B | C | D | E |
| A                                                       | B                                                                                                                    | C | D | E |   |   |
| 17 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。                   | <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5                                                       | 4                                                                                                                    | 3 | 2 | 1 |   |   |

裏面に自由意見欄を設けていますので、この授業に対する意見を自由に書いてください。

（裏面に続く）

ご協力ありがとうございました。

自由意見欄 :この授業に対する意見を自由に書いてください。


## 授 業 ア ン ケ ー ト(設問追加用)

このアンケートは、全学的に実施するアンケートとは異なり、授業担当教員が独自に実施するものです。設問及び選択肢等は、この授業固有の項目について、教員が自由に設定したものですので、指示に従って回答をお願いします。

(教員説明欄)

.....  
.....  
.....  
.....

1	_____	5	4	3	2	1
2	_____	5	4	3	2	1
3	_____	5	4	3	2	1
4	_____	5	4	3	2	1
5	_____	5	4	3	2	1
6	_____	5	4	3	2	1
7	_____	5	4	3	2	1
8	_____	5	4	3	2	1
9	_____	5	4	3	2	1
10	_____	5	4	3	2	1